禁転載複製

当日配付

試験終了後公開

B43

「中央職業能力開発協会編」

令和６年度 技能検定
１級 かわらぶき 学科試験問題
(かわらぶき作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　軒の出寸法は、一般に、柱心からたる木の先端までの水平寸法のことである。

2　塗上げ破風（はふ）は、漆喰（しっくい）やモルタル等で仕上げられた破風である。

3　寄棟屋根において、隅勾配は、平勾配よりも傾斜が緩やかである。

4　日本産業規格(JIS)によれば、アスファルトルーフィング940とは、製品の単位面積質量が940g／m²以上のアスファルトルーフィングをいう。

5　アスファルトルーフィングを下葺きする場合、水上側から水下側に向かって葺き進めるとよい。

6　折板（せっぱん）葺きは、金属板葺きの一種である。

7　日本建築学会建築工事標準仕様書(JASS)によれば、木造建築物(枠組壁工法を除く。)において、住宅屋根用化粧スレートを葺くための構造用合板の厚さは、9mm以上を標準とすると規定されている。

8　しょうぶ金（がね）とは、土蔵造りにおいて、刻み袖瓦を施工する場合、その補強のために敷定規を敷くことがあるが、この敷定規を受けるために打たれる金具のことをいう。

9　大矩（おおがね）の三辺の比率は、2：4：6である。

10　瓦の割付けにおいて、桟瓦の葺き幅寸法は、使用する桟瓦のうち幅寸法が一番大きいものを基準にする。

11　本葺きの平唐草掛瓦の下には、勾配戻しや高さ調整のために二の平瓦を使用する。

12　棟で使用する甍（いらか）瓦の納まり勾配は、2／10～3／10程度とするとよい。

13　隅棟への雨水の流れ込みを防ぐ方法の一つとして、勝手瓦を土台の手前で縦にカットする方法(隅切り)がある。

14　施工管理には、原価管理、工程管理、品質管理、安全衛生管理等がある。

15　工程表の作成方法には、着手日から各工事の施工期日を割り当て、竣工期日内に収める順行法や、竣工期日から各工事の施工時期を割り当て、工期内に収める逆算法(逆行法)等がある。

16　労働安全衛生法関係法令によれば、単管足場における建地間の積載荷重は、原則として、500kgを限度とすることと規定されている。

［A群（真偽法）］

17　瓦巻上げ機(ウインチ)の巻上げ用ワイヤロープは、摩耗等による直径の減少が公称径の10%を超えなければ、そのまま使用することができる。

18　袖丸瓦は、一般に、切妻屋根の袖瓦の押さえに使用する。

19　南蛮漆喰(しっくい)は、消石灰、砂、すさ及びセメントを水で練り混ぜて作る。

20　金属板葺きに使用される屋根材の一つとして、ガルバリウム鋼板(溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板)を使用したものがある。

21　和式小屋組には、小屋ばりを軒桁に載せかける京呂組と、柱にかける折置組とがある。

22　建築基準法関係法令によれば、アスファルトルーフィングは、不燃材料に含まれる。

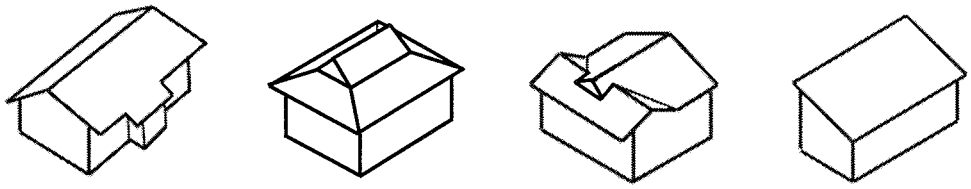
23　図面において、1mが2cmに描かれている場合の縮尺は、1：20である。

24　労働安全衛生法関係法令によれば、架設通路の勾配は、原則として、30°以下とすることと規定されている。

25　労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、スレート、木毛板等の材料で葺かれた屋根の上で作業を行う場合において、踏み抜きにより労働者に危険を及ぼすおそれのあるときは、幅が30cm以上の歩み板を設け、防網を張る等踏み抜きによる労働者の危険を防止するための措置を講じなければならないと規定されている。

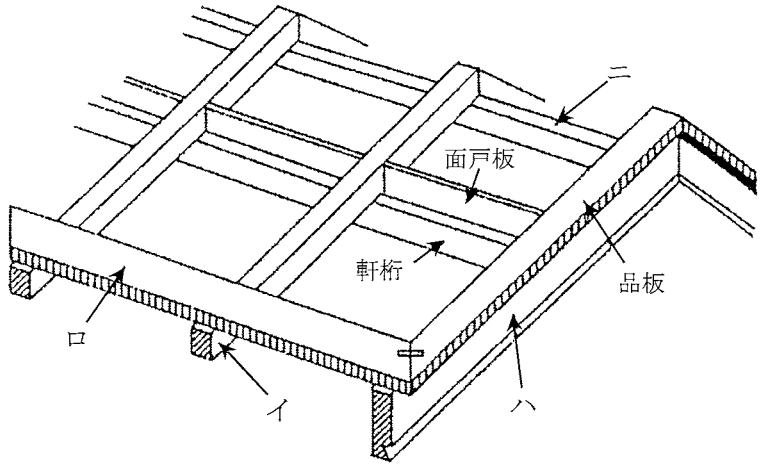
［B群（多肢択一法）］

1　下図の屋根の形状とその名称の組合せとして、適切でないものはどれか。



イ　棟違い屋根　　ロ　しころ屋根　　ハ　乗越し屋根　　ニ　片流れ屋根

2　下図に示す屋根の部材イ～ニの名称として、適切でないものはどれか。



イ　たる木
ロ　広小舞
ハ　破風（はふ）
ニ　棟束（むなづか）

3　次の屋根形状のうち、傍軒が付いていないものはどれか。
イ　ギャンブレル屋根(切妻腰折れ屋根)
ロ　寄棟屋根
ハ　半切妻屋根
ニ　招き屋根

4　屋根下地と横桟木留め付け手段との組合せとして、適切でないものはどれか。

	[屋根下地]	[横桟木留め付け手段]
イ	コンクリート打ち放しコテ仕上げ下地	アンカーボルト
ロ	硬質木片セメントパネル下地	木下地用の釘
ハ	モルタル押さえ仕上げ下地	アンカーボルト
ニ	パーライト系モルタル押さえ下地	木下地用の釘

［B群（多肢択一法）］

5　文中の(　　)内に当てはまる数値の組合せとして、適切なものはどれか。

瓦葺き屋根の下葺き材としてアスファルトルーフィングを使用する場合、隣接するアスファルトルーフィングの重ね幅は、上下(流れ方向)では(①)mm以上、左右(長手方向)では(②)mm以上とする。

	①	②
イ	200	100
ロ	150	100
ハ	100	150
ニ	100	200

6　ひわだ葺きに使用する材料はどれか。

イ　スギの皮
ロ　スギの赤味
ハ　ヒノキの皮
ニ　サワラの赤味

7　屋根葺き用材料に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　アスファルトフェルトは、有機天然繊維で作った原紙に加熱溶融したアスファルトを浸透させて作られたものである。
ロ　ALCパネル下地は、ねじを使用すれば高い保持力が得られる。
ハ　柿(こけら)葺き、土居葺き及びとち葺きの葺き方には、葺き足寸法に違いがある。
ニ　塩化ビニル波板は、60℃以上になるとたわみが出て熱膨張を起こし、火炎などによって溶融するおそれがある。

8　定規類の使用に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　のさ・かぎ測定定規は、掛巴瓦や軒巴瓦等の鏡部分の角度を調べるのに使用する。
ロ　曲矩(くせがね)は、角度がある部分の形を写すのに使用する。
ハ　大矩(おおがね)は、屋根の中心を求めるときや瓦割付けの基準を出すときに、軒先瓦座に対し直角度を求めるために使用する。
ニ　水準器は、反りがある屋根の各部の反りを計測するのに使用する。

9　たがねに関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　一般に、両刃である。
ロ　瓦を削り取る場合は、刃先の全体を使って行うのがよい。
ハ　瓦の硬さに合った刃先角度になるように研ぐ。
ニ　特殊鋼製のたがねを研ぐ場合には、軟らかい人造といし又は金属製といしを使用する。

［B群（多肢択一法）］

10　割付け墨の付け方に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　屋根の右から葺くさし葺き工法では、一般に、桟心から桟幅寸法分を左に移し、桟側面を割付けの墨とする。

ロ　屋根の左から葺くかぶせ葺き工法では、一般に、桟心から桟幅寸法分を右に移し、それを割付けの墨とする。

ハ　墨を屋根面に記すときは、割付け定規の墨にさしがねを合わせるなどして、定規の墨と誤差を生じないように正確に記入する。

ニ　試算用の墨の色と最終墨の色は、現場内又は作業所内でそれぞれの色を統一しておくことが望ましい。

11　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

瓦屋根工事の数量積算に必要な図面は、一般に、平面図、立面図、(　　)及び屋根伏図である。

イ　矩計図（かなばかり）

ロ　原寸図

ハ　展開図

ニ　透視図

12　社寺建築の妻側妻下屋根に取り付ける棟はどれか。

イ　稚児棟（ちご）

ロ　二の棟

ハ　懸魚降り棟（けぎょくだ）

ニ　降り棟（くだ）

13　一文字軒瓦の合端（あいば）の手順として、下記の工程①～④を適切に並べたものはどれか。

[工程]

①　雀口の合端をする。

②　下端の修正をする。

③　桟瓦の葺き幅寸法で差し込み側を切断する。

④　雀口幅寸法を決め、下端に直角に切る。

イ　④ → ③ → ① → ②

ロ　① → ④ → ③ → ②

ハ　② → ④ → ① → ③

ニ　② → ① → ④ → ③

［B群（多肢択一法）］

14　葺き土の取扱いに関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　葺き土は、地葺き用と棟積み用とに大別される。

ロ　葺き土は、良質の土に藁（わら）すさ等を入れて練り、数日間寝かせた後、練り直したものがよい。

ハ　地葺きに葺き土を使用する工法には、べた土葺き工法、筋葺き工法、馴染み土葺き工法等がある。

ニ　素丸瓦の葺き土には、南蛮漆喰（しっくい）よりも練り土を使用する方がよい。

15　社寺建築の屋根を本葺瓦で施工する場合に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　屋根面積が360m²前後の屋根には、利き幅寸法が270mmの平瓦を使用するとよい。

ロ　平瓦と平瓦のすき間は、瓦の大きさによって変わるが、利き幅寸法が240～300mmの平瓦を使用する場合は、9～15mm程度とするとよい。

ハ　平瓦の利き幅寸法は、平瓦の頭で測るとよい。

ニ　拝み巴瓦には、大かぎを使用するとよい。

16　文中の(　　)内に当てはまる数値の組合せとして、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、単管足場において、建地の間隔は、桁行方向を(　①　)m以下、はり間方向は(　②　)m以下とすることと規定されている。

	①	②
イ	2.0	1.2
ロ	1.85	1.5
ハ	1.5	1.85
ニ	1.2	2.0

17　軒瓦に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　唐草軒瓦は、剣の部分に唐草模様のあるものである。

ロ　万十軒瓦は、鎌軒瓦の合端（あいば）口を万十といわれる円形のもので覆った形状のものである。

ハ　石持（こくもち）軒瓦は、万十軒瓦の別名で、万十軒瓦と同じものをいう。

ニ　一文字軒瓦は、垂れ下端が直線状になっているものである。

18　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

(　　)とは、原料土を成形、乾燥した素地を焼き締めただけの瓦をいう。

イ　塩焼瓦

ロ　ゆう薬瓦

ハ　素焼瓦

ニ　いぶし瓦

［B群（多肢択一法）］

19　日本産業規格(JIS)におけるプレスセメント瓦に関する記述として、誤っているものはどれか。

イ　セメント、細骨材などを主原料として加圧成形したものである。

ロ　形状により、平形桟瓦、平S桟瓦及び和形桟瓦の3種類に区分される。

ハ　塗装の有無により、無塗装と塗装の2種類に区分される。

ニ　吸水率は、10%以下である。

20　建築構造に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　モデュラー式とは、現場で型枠を組み、コンクリートを流し込んで構造体を造る方法をいう。

ロ　組立て式とは、はり、柱、壁、床等の構造構成材を現場で組み立てる方式をいう。

ハ　パネル式とは、壁、床などのパネル(面材)を組み合わせる方式をいう。

ニ　組積式とは、コンクリートブロック、れんが、石などの部材を積み重ねて構造体を造る方法をいう。

21　木造建築物の構造に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　たる木小屋組は、はり間の小さい建物に多く用いられる。

ロ　2階以上の建築物の隅柱は、原則として、通し柱としなければならない。

ハ　筋かいは、軸組の変形を防ぐために柱間の対角線方向に入れる部材である。

ニ　2階の床組には、一般に、つか立て床が用いられる。

22　建築基準法関係法令によれば、耐火構造における屋根の耐火時間(通常の火災による火熱に対して耐えるべき時間)として、正しいものはどれか。

イ　30分間

ロ　1時間

ハ　1.5時間

ニ　2時間

23　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、木造壁(大壁)を表す材料構造表示記号はどれか。



イ



ロ



ハ



ニ

［B群（多肢択一法）］

24　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、(　　)m以上の高所から物体を投下するときは、適当な投下設備を設け、監視人を置く等労働者の危険を防止するための措置を講じなければならないと規定されている。

イ　3
ロ　5
ハ　7
ニ　10

25　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、高さが(　　)m以上の作業床の端、開口部等で墜落により労働者に危険を及ぼすおそれのある箇所には、囲い、手すり、覆い等を設けなければならないと規定されている。

イ　1.2
ロ　1.5
ハ　1.8
ニ　2